

1. 日 時 平成 2 5 年 1 1 月 2 8 日 (木) 1 3 時 0 1 分開会
1 5 時 5 9 分閉会

2. 場 所 第 2 委員会室
鶴川内集会施設

3. 出席委員 野畑直委員長，松元薫久副委員長，石澤委員，竹原委員，
濱崎委員，大田委員，鳥飼委員，中面委員

4. 事務局職員 議事係 寺地 英兼

5. 会議に付した事件

・所管調査事項

(1) 鳥獣被害対策について、市捕獲協会との意見交換会

6. 議事の経過概要

別紙のとおり

審査の経過概要

野畑直委員長

ただいまから、産業厚生委員会を開会いたします。本日は所管事務調査についてを議題といたします。前回9月17日の委員会の中で時期を見て猟友会との意見交換会をするということになっておりまして、きょう鳥獣被害対策について阿久根市有害鳥獣捕獲協会との意見交換会及びいかくら阿久根視察を行いたいと思いますが、各委員からの御意見はありませんか。

〔「なし」と発言する者あり〕

なしということで、それではお諮りいたします。今回、現地調査ということで有害鳥獣捕獲協会との意見交換会及びいかくら阿久根の視察を行いたいと思いますがこれに御異議ありませんか。

〔「なし」と発言する者あり〕

御異議なしと認めます。それではただいまから意見交換会会場へ移動したいと思います。

(鶴川内集会施設へ 13:03 ~ 14:55)

野畑直委員長

現地視察前に戻し引き続き委員会を再開いたします。現地調査が終了しましたが、ここで今後の調査方法についてを議題といたします。いかくらの調査については、年度途中ということで途中経過を聞いてきたわけですけど、今後の取り組みとして委員の方からの意見を聞きたいと思います。

〔発言するものあり〕

きょう、11月14日現在の数値などを聞きましたけど、1年を通していないということで今後のことについてもよくわからないという中で、これについては調査を継続してくべきだとは思いますが、その中で委員から特に何かこういうことをというのであれば、意見を集約していきたいと思います。何かきょうのいかくらについて、今後の課題等を考えて意見がありましたらお願いします。

竹原恵美委員

これについては、年間通してみても結果は出るであろうという説明がありましたが、こちらとしてはそれを見守っていく、変化に応じてそのときに内容を見て支えるという形になろうかと思っておりますので、今はいかくら自体テーマに対してはここで報告をして、ほかの委員の方にも努めて知らせ、これからの体制を整えるためには一度報告をしておくというのも一つかと思っております。しめて委員会の報告とする。委員会の調査報告をするというやり方。

野畑直委員長

調査報告をもちろんするんですけど、きょうも最後に課題というか、議長もオブザーバーとして来ていただいて、その中で止め刺しの問題について小動物のムジナ等の止め刺しについての補助もないと、そして捕獲協会のほう

でもそういうところももう少し考えてほしいというような意見もありましたので、最後のしめとして私も捕獲協会の考え方、そういう問題等について取りまとめてもらいたいということがありましたので、また我々の委員会のほうだけではなくて、向こうから何か出てくればそれに対応する委員会を開かないといけないということが起きてくるとは思うんですけども。これで年度内はせずに1年経ってからということではなくて、それについてはちょっと私も期限を切ってということとは、向こうの捕獲協会ほうからのそういう困った問題等を提起してもらったときには、委員会を開かないといけないのかなと思って、そのときは意見交換会というふうには思っております。

中面 幸人 委員

きょう所管調査の中の有害鳥獣被害対策についての一つの言わば、いくらをきょうは現地調査したわけなんです、今の現状また今後抱えている問題等、そしてまた1年経ってみないと頭数等わからない。収支なんかもわからないという状況でしたので、この有害鳥獣被害対策の一つのいくらについては、そういうふうにも今後まだまだずっと継続していくべきであり、今後は有害鳥獣被害対策の中の例えば、今度は侵入防止をする防護柵、この辺については、ことし25年度から新たに事業化されて取り組んでいるわけですので、この辺のところも大事かなと思いますので、今度はそういう侵入防止柵等ですね、その辺あたりもちょっとやっぱい今後検討していかなければならないと私は思っておりますけど、皆さんどうでしょう。

野畑 直 委員長

今、中面委員のほうから今回の分は、捕獲に対する問題だと。今度は防護のほうでの委員会ということで、前回の委員会の中でもその件については、確かに問題を提起されております。そのときは田代地区と槁之浦西地区ですね、尾崎、こういうところの収穫後の現地調査ということだったと思うんですが、これについてももしないといけないというふうには協議があったところですよ。

濱崎 國治 委員

そういうことで、有害鳥獣被害対策については継続して今後調査していくということで一応まとめとって、その後さっき委員長がおっしゃったようにまた年度が終わったとか、あるいは今度農政課管轄等については、収穫が終わった後また現地調査をして防護柵についてまた現地調査等をしていったらいいと思います。

〔「私もそれに賛成です」と発言する者あり〕

野畑 直 委員長

わかりました。きょうの捕獲協会との分だけではなくて、農政課関係の侵入防止柵等の関係もありますので、その件についてはこの前田代地区、尾崎地区、槁之浦西地区等の現地を見てみたいというような話しになっておりましたので、その件についてはまた今後私のほうでそういう実施時期等を決めて皆さんに報告するというので、きょうのこの件を含めて鳥獣被害対策についての議題というのはこれで終了してよろしいですかね。

〔「はい」と発言する者あり〕

よろしいですか。

〔「はい」と発言する者あり〕

それでは、交流人口増加対策についても前回、協議の中でありました釣堀に関して天草、湯ノ児、御立岬や自然を利用した海釣り公園の調査や、そのほか九州管内で別なよく運営状況がわかるところを調査してみるとの意見がありました。また年内の調査は無理かもしれないため、もう少し調査をして決定をしていくということでありました。

次に6次産業化の推進対策については、引き続き各自情報を収集、調査を行い、委員会として情報を共有し取りまとめていくということでした。

道路河川の危険個所の整備対策については、執行部から資料の提出がありましたので、今後どのようにしていくか協議をする必要があります。次に子育て支援対策については、午後3時以降の現地調査はできるということでありましたので、2時過ぎでも良いということでしたけれども、次の委員会で調査をするということでありました。以上のような意見が出ていますが、次回委員会ではどのように進めていくかお諮りいたします。

各委員の意見を求めます。

中面幸人委員

委員長のほうで4項目について、今後どのような進め方でいくかということとありますけれども、地元でできるやつは地元でできるし、例えば、交流人口対策等ですね、例えば、よその県に行って調査となればなるべく早くですね、やっぱり、その場所をですね、決定しないことには先に進まないと思いますので、交流人口対策それと6次産業については、なるべく早くですね、視察箇所を決定したほうがいいんじゃないかと思います。あと道路危険個所と子育てについては、地元でできるのでこの辺あたりはまた調整できればですね、いいんじゃないかと思います。

野畑直委員長

今、中面委員のほうから交流人口対策と6次産業化については、なるべく早く進めるべきだと。市内の部分については、その都度行けるからということとです。

ほかに意見ありませんか。

松元薫久委員

子育て支援対策なんですけど、こじかの施設が大分古いというふうな、課長からの意見があったんですけど、施設を見に行くというのは、近い場所ですからぜひ近々組んでもらえればと思います。

野畑直委員長

子育て支援対策についての意見がありました。現地調査については、午後3時以降、2時でも良いということですので、次回委員会をまた議会が始まりますけれども、そのときにでも行けるように何とか日程を調整して行ければというふうに思っております。少しずつでも課題としましたものについては片づけていくようにしていかなければならないと思いますので、次回の委員会を12月の定例会の中でいつか委員会をできるように日程調整をしたいと思いますが、それでよろしいですか。

〔「異議なし」と発言する者あり〕

それでは、次の委員会の日程について、6次産業化の分についても資料を

いただきましたけれども。

〔「言ってもいいの。今、もうしめちゃったの。」と発言する者あり〕
いいえ。次回の委員会までに考えていくことを今意見聴取します。

竹原恵美委員

6次産業と交流人口のことを急ぐという提案も聞いたんですけども、私は交流人口のほうのテーマが今出てきてるのが海洋公園などですが、これはまだ阿久根にとっては随分先なので、順番としては後ろのほうでいいんじゃないかと思います。そして6次産業なんですけれども、6次産業を担うのは地元の方なんですけど、実際今ここでそれを担うグループがどういう状況にあるのかというのを先に一つ押さえておく必要があるのではないかと、よそを見に行っってここに土台のない女性グループを目当てに調査に行くという必要は逆ではないかと。今地元でジャムをつくったり、（聴取不能）たりする方々の活動のこれからの方の受け入れ状況も聞いて、今の活動内容も聞いてそこに阿久根で6次産業を、例えばこういうよその状況がありますよという提起はそういうふうにして活動は広げられると思いますけども、全く足元のないグループに対しての調査を行う必要はない。逆に地元の女性部会を見に行っってみたいというふうに提案します。そして、今急ぎたいのは、この前報告会も済んで現地の工事も進んでいないというのも、恐らくまた2度上がってきていると思うんですけども、こちらのほうに着手して、着々と進めていける体制がこちらにも動きがとれるような議会として、委員会として、執行部のほうに動きがとれる。そのほうを準備立てていきたい。そのほうが結果が出る方向にあるのではないかと。要望に答えるスピードが上がる委員会ではないかと思います。

野畑直委員長

今、竹原委員のほうから6次産業化についてはですね、先ほども申しましたけれども、各自情報収集、調査を行うというふうに進めて、委員会でそれを共有すると、各自情報を集めたものをですね、先進地を見に行くということはまだ現実的ではないというふうに私も先ほどの中で申し上げておりますので、6次産業化については、そのように各自、やはり情報収集してもうちょっと市内のほうを調査をするということで進めていけたらというふうに思います。それと後から言われた道路河川の危険個所の整備対策ということだと思いますけど、これについては議会報告会の中で、それぞれの各班でのまとめ等が今できつつあるところです。最終的なものは12月3日に班長会でこの前決めてありますので、その資料等がそろった時点でまた委員会のほうにその情報をですね、まとめたもので議論をするということで、それも次回の委員会の中で話し合っていければいいのかなというふうに思います。

〔竹原恵美委員「了解」と発言〕

中面幸人委員

先ほど竹原委員のほうから6次産業化について話がありましたが、全くその通りであってですね、6次産業というのは地元で、言わば1次産業、農業、漁業、林業を含めて、自分の地域で、言わば、の産物について、言わば加工し販売というそういうふうなものですので、確かに自分たちのこの地域でですね、農業にしろ水産業にしろ林業にしろ、そういうので実際今、婦人部、

加工グループ等がですね、阿久根でもいくつかのグループがありますので、まずそういう調査もやっぱり大事なかなと思いますんで、その辺を調査してそういう言わば、そういう人たちとの意見交換というのもですね、確かに竹原委員が言われるように地元の、言わば産物についてやっぱりちゃんとした調査をやっぱりやってからという、その通りだと思いますので、そういうふうに進めて欲しいと思います。

野畑直委員長

今、竹原委員と中面委員の意見は一致してると思いますけれども、その市内の6次産業化に匹敵するんじゃないかというような箇所、あるいはそのグループ等があれば、また次回の委員会のために視察したい場所等を上げてもらって、皆さんで場所を検討していきたくと思いますので、次回の委員会までにそういう箇所をまとめてもらえたらいいんですが。二人だけではなくてほかの委員の方々もそういうところがあればと思いますが、そういう形でよろしいですかね。

中面幸人委員

各委員でそういうようなところを調べるということですか。

〔濱崎國治委員「そういうところがあったら、言ってください。（聴取不能）」と発言〕

野畑直委員長

中面委員、今私が言ったのは、市内でこういうところがありますけど皆さんどうですかという程度のもので、打診をするのではなくて、委員会の中でそういう、例えばグループとか場所とこういうところに行ってみましょうかという、そこに行って調査をしましょうかというものを上げてもらいたいと。次回の委員会までにです。次回の委員会でそこに行くというのではなくて、次回の委員会のために阿久根では、こことここにありますよと。みんなでそしたらどこに行きましょうかというものを上げてもらいたい。

中面幸人委員

それぞれ各自委員の方がですね、勉強されたりしてることもあるかと思いますが、例えば、農業関係であつたら農政課、水産物であつたら水産林務課が大体把握してますので、その辺あたりを一応事務局のほうで調べていただいてですよ、そういうのもどうかなと私は思ったものですから。

野畑直委員長

わかりました。所管課にそういうのをお願いするという考え方ですね。私も先に進んだかもしれませんが、各自そういうところがあったら、そういうところも上げて、ただ所管課だけに依頼するのではなくて、また自分たちも考えとってその中で執行部との所管課との意見が一致するところは、またそれでいいと思いますので、すべてを所管課にお願いするというのではなくて、自分たちも考えてくるというふうに考えとってもらえればありがたいと思います。

濱崎國治委員

前から今、おっしゃったように釣堀とか海洋的なものについては、予算の関係もありますので3月中にせないかんというのがあるんですよ。そうすればやっぱり、遅くとも2月中旬ごろまではせないかんということになるかと

思うんですが。そういうのも念頭におきながら、そこの調査を行ったらと思います。

野畑直委員長

今、濱崎委員のほうから交流人口増加対策についての釣堀に関しては、前回も天草と湯ノ児と御立岬にあると、これは近隣であり、そうまで時間をとらないところであるので、このへんのところで所管事務調査をしたらという考え方が大方だったと思いますので、これについても今濱崎委員のほうから言われましたように、遅くとも2月中旬までには終わらせないといけないと思いますので、その辺も含めて次回の委員会で意見を聴取したいと思いますのでよろしくお願いします。

鳥飼光明委員

この時期ですけどね、私は反論するのではないけど、2月中旬は遅いんじゃないかと。予算査定がすでに（聴取不能）私はそう思ったですけどね。同じ時期でも2月中旬になると、それからはずれて、するとなるとなればですね、遅いんじゃないかと。3月初めは議会が始まるわけですけども。私の考えは。

〔濱崎國治委員「私は2月中旬までにとっているんです」と発言〕

新年度に関わるのであれば、遅いんじゃないかなと。

野畑直委員長

休憩に入ります。

（休憩 15：56 ～ 15：59）

野畑直委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。ほかに意見はありませんか。

〔「なし」と発言する者あり〕

ないようでしたら、継続調査中の調査事項に関して参考とするためにですね、先進地の調査ということの話はしましたけども、それは今のところ釣堀に関してだけということですので、そういう方向で今後は進めていくという考え方でよろしいですか。

〔「はい」と発言する者あり〕

濱崎國治委員

もし、それまでにほかのが出てきたら、日程的に例えば1月下旬だったら間に合うと思いますけど、その辺は次の委員会等でまた協議したらどうでしょうか。

野畑直委員長

それでは、先進地の調査については、今後委員会の中で対応していきたいと思います。その調査先が決まりましたら御連絡します。そしてまた、皆さん方からの意見もお受けしたいと思います。

先ほども申し上げましたけれども、12月議会会期中になるかと思いますが、次回の委員会の日程については、委員長に一任願いたいと思います。よろしいですか。

〔「はい」と発言する者あり〕

[「異議なし」と発言する者あり]

それでは、本日の産業厚生委員会を散会いたします。

(散会 16:01)

産業厚生委員会委員長